

- 問1 1854年に江戸幕府がアメリカとの間で日米和親条約を締結した際、遭難した乗組員の救助や、薪水・食料の供給を目的として、北海道の箱館（函館）とともに開港された静岡県伊豆半島の先端に位置する港はどこですか。（2019年 三重県公立入試 類似）
1. 横浜 2. 長崎 3. 神戸 4. 下田
- 問2 1853年、アメリカの東インド艦隊司令官ペリーが4隻の軍艦（黒船）を率いて来航し、長年続いていた「鎖国」の状態から日本に開国を迫った場所はどこですか。（2024年 山形県公立入試 類似）
1. 箱館（北海道） 2. 浦賀（神奈川県） 3. 下田（静岡県） 4. 長崎（長崎県）
- 問3 1825年に出された異国船打払令では、日本に近づく外国船を無差別に追い返すよう命じていましたが、1842年に幕府はその方針を転換しました。このとき、遭難した外国船に対して燃料や食料、水などを与えて帰帆させることとした法令を何とといいますか。（2020年 高知県公立入試 類似）
1. 薪水給与令 2. 公事方御定書 3. 武家諸法度 4. 異国船打払令
- 問4 西日本の歴史的地名について、九州北部に位置し弥生時代の代表的な環濠集落である吉野ヶ里遺跡がある県と、本州の西端に位置し幕末に薩長同盟の一翼を担った長州藩（現在の山口県）の組み合わせとして適切なものはどれですか。（2019年 北海道公立入試 類似）
1. 福岡県と広島県 2. 大分県と島根県 3. 長崎県と岡山県 4. 佐賀県と山口県
- 問5 19世紀半ば、ペリー率いるアメリカ艦隊が日本に来航し、開国を要求した主な背景と目的について述べたものとして、最も適切な説明はどれですか。（2023年 山口県公立入試 類似）
1. 日本で豊富に産出される良質な石炭を、エネルギー不足に悩むアメリカ本国へ輸出するための販路を独占すること。 2. 太平洋横断航路を実現することで、ヨーロッパ諸国よりも有利にアジア貿易を行い、あわせて蒸気船に必要な石炭の補給地を確保すること。 3. 江戸幕府に対してキリスト教の布教を公認させ、日本を拠点としてアジア全域に宗教的影響力を広めること。 4. 東南アジアの特産品である香料を、中継地点である日本を通じて安く手に入れるための貿易体制を構築すること
- 問6 幕末の経済状況を反映した当時の風刺画や統計資料には、生活必需品の価格が急騰し、それに対して不満を持つ人々の様子が描かれています。このような社会情勢が背景となって、当時の人々の間で広まった動きとして適切なものはどれですか。（2024年 埼玉県公立入試 類似）
1. 輸出による利益がすべての農民に平等に分配されたため、農村部では争いごとが完全になくなった。 2. 生活の苦しさを訴え、世の中の仕組みが変わることを期待する「世直し」の一揆や打ちこわしが頻発した。 3. 幕府が物価を安定させることに成功したため、將軍の権威を称える大規模な行事が全国で展開された。 4. 輸入品の普及によって生活が豊かになったことを祝い、各地で開国を歓迎する祭りが盛んに行われた。
- 問7 1858年に大老に就任した井伊直弼は、天皇の許可を得ないまま日米修好通商条約を結びました。この強硬な姿勢に対し、反対の声を上げた吉田松陰などの志士や、対立する大名・公家を厳しく処罰した弾圧事件を何とといいますか。（2016年 千葉県公立入試 類似）
1. 蛮社の獄 2. 安政の大獄 3. 生麦事件 4. 桜田門外の変
- 問8 1853年にペリーが浦賀へ来航した主な目的について、当時のアメリカの時代背景を踏まえた説明として最も適切なものを選びなさい。（2022年 和歌山県公立入試 類似）
1. キリスト教の布教を全国で認めるよう要求し、宗教的な同盟を築くため 2. 太平洋で活動する自国の捕鯨船などへ、食料や燃料を補給する拠点を確保するため 3. 日本国内に眠る金や銀の採掘権を独占し、貿易の決済手段を確保するため 4. 江戸幕府の軍事力を調査し、日本をアメリカの完全な植民地にするため
- 問9 1840年に始まったアヘン戦争において、清がイギリスに敗北したという情報を得た江戸幕府は、それまでの強硬な対外政策を改めて1842年に「薪水給与令」を出しました。この法令の内容として最も適切なものはどれですか。（2019年 大分県公立入試 類似）
1. 長崎でのオランダ・清との貿易をさらに拡大するため、組織的に薪や水を供給する役職を新設した。 2. 日本近海に現れた外国船に対し、燃料となる薪や水、食料などを与えたうえで、穏やかに退去させるようにした。 3. 海岸に近づく外国船に対して、理由を問わず一律に砲撃を加えて追い払うよう、諸藩に改めて徹底した。 4. アメリカの要求を受け入れ、下田と函館の2港を開いて外国船が薪や水などの補給を受けられるようにした。
- 問10 1858年に結ばれ、横浜などの港を貿易港として開港するきっかけとなった日米修好通商条約の内容について、当時の日本にとって不平等であったとされる制度の仕組みとして、正しい説明を一つ選びなさい。（2024年 熊本県公立入試 類似）
1. キリスト教の布教を公認する代わりに、日本側に有利な貿易品目を選定させたこと 2. 下田と函館の2港に限定して開港し、それ以外の地域での貿易を禁止したこと 3. 日本が輸出品に対して自由に高い税金をかけることができる「関税自主権」を獲得したこと 4. 日本国内で罪を犯した外国人をその国の領事が裁く「領事裁判権」を認めたこと
- 問11 幕末の開港にともなう貿易の拡大は、日本の社会に激しい物価の変動をもたらしました。当時の人々がこうした生活の苦しさや社会の混乱を打破しようとし、「世直し」を求めて起こした行動や社会現象として正しいものはどれですか。（2025年 神奈川県公立入試 類似）
1. 人権の平等を求めて全国水平社が結成され、差別を助長する経済秩序の変革を訴えた 2. 劣悪な労働環境を改善するために、製糸工場の女工たちが日本で初めての労働争議を起こした 3. 地価の3%を現金で納める制度に反対するため、全国各地で大規模な地租改正反対一揆が発生した 4. 農村での一揆や都市部での打ちこわしが多発し、「ええじゃないか」と唱えて踊り歩く現象が広がった
- 問12 1853年にアメリカからペリーが来航した際、幕府に突きつけた主な要求の内容と、その後の日本の対応について述べた文として、最も適切なものはどれですか。（2023年 大分県公立入試 類似）
1. キリスト教を日本全国で布教することを認めさせるため、武力による開国を求めた。 2. 捕鯨船などのための燃料や食料の補給を目的として、日本に開国を求めた。 3. 日本をアメリカの領土の一部とするため、不平等な割譲条約の締結を求めた。 4. 江戸幕府を倒して新しい天皇中心の政府を作るよう、幕府に対して強く要求した。
- 問13 1858年に、朝廷の許可（勅許）を得ないまま日米修好通商条約を締結し、さらに自身の政策に反対する大名や武士たちを「安政の大獄」で厳しく弾圧した大老が、1860年に江戸城の門外で暗殺された事件を何とといいますか。（2024年 山形県公立入試 類似）
1. 生麦事件 2. 桜田門外の変 3. 蛮社の獄 4. 禁門の変

答え合わせ・解説

問1	答え 4 下田	ペリーの来航を受けて結ばれた日米和親条約では、アメリカ船の補給地として静岡県の下田と北海道の箱館の2港が指定されました。この条約の段階では本格的な貿易（通商）は認められておらず、燃料や食料を供給することが主な目的でした。後に結ばれた日米修好通商条約で開かれた横浜や神戸などと混同しないよう注意が必要です。
問2	答え 2 浦賀（神奈川県）	アメリカは北太平洋での捕鯨船の補給拠点を確保するため、巨大な軍艦を率いて江戸の喉元にあたる浦賀に来航しました。当時の江戸幕府は、長崎以外の場所に外国船が来航し、武力による圧力を受けて開国を要求されたことに大きな衝撃を受けました。これが幕末の動乱の直接的なきっかけとなりました。
問3	答え 1 薪水給与令	江戸幕府は1842年、それまでの強硬な姿勢を改め、外国船に薪（燃料）や水、食料を分け与える薪水給与令を出しました。これは、隣国の清がアヘン戦争でイギリスに敗れたという情報が伝わり、幕府が西洋列強との直接的な軍事衝突を避けようとしたために行われた方針転換です。
問4	答え 4 佐賀県と山口県	吉野ヶ里遺跡は、九州北部の佐賀県神埼市から吉野ヶ里町にまたがって位置する弥生時代の遺跡です。また、江戸時代末期に薩摩藩（鹿児島県）と薩長同盟を結んだ長州藩は、本州の西の端にある現在の山口県にあたります。
問5	答え 2 太平洋横断航路を実現することで、ヨーロッパ諸国よりも有利にアジア貿易を行い、あわせて蒸気船に必要な石炭の補給地を確保すること。	当時のアメリカは、大西洋を回る従来の航路に代わり、より短期間でアジアに到達できる太平洋横断航路の確立を目指していました。この新航路において、日本は地理的に重要な位置にあり、当時の蒸気船の動力源として不可欠だった燃料用石炭の補給地を確保することが、開国を求めた大きな目的の一つでした。
問6	答え 2 生活の苦しさを訴え、世の中の仕組みが変わることを期待する「世直し」の一揆や打ちこわしが頻発した。	急激な物価の上昇は、都市の貧困層や農民の生活を直撃し、社会的な不安を増大させました。人々は生活の苦しさを幕府の失策や外国との貿易のせいにし、現状を打破して新しい世の中を求める「世直し」の風潮が強まりました。これが、各地での一揆や打ちこわし、さらには「ええじゃないか」といった集団乱舞などの社会現象につながっていきました。
問7	答え 2 安政の大獄	井伊直弼は、自身の外交政策や将軍の跡継ぎ問題に反対する勢力を抑え込むため、大規模な粛清を行いました。山口県の松下村塾で教え、のちの明治維新に大きな影響を与えた吉田松陰も、この事件によって処刑されました。この強引な政治手法は尊王攘夷運動を激化させるきっかけとなりました。
問8	答え 2 太平洋で活動する自国の捕鯨船などへ、食料や燃料を補給する拠点を確保するため	当時のアメリカは、産業用の油を得るための捕鯨を太平洋で盛んに行っていました。そのため、航海を続けるための石炭（燃料）や食料、飲料水の補給地、および遭難した船員の保護を目的として日本の開国を強く求めています。ペリーの来航は、こうした捕鯨船や清（中国）との貿易航路の中継地点を確保するという経済的・実用的な背景がありました。
問9	答え 2 日本近海に現れた外国船に対し、燃料となる薪や水、食料などを与えたうえで、穏やかに退去させるようにした。	江戸幕府は1825年に「異国船打払令」を出して外国船を厳しく排除していましたが、アヘン戦争で大国である清がイギリスに敗れたことに衝撃を受け、方針を転換しました。強力な軍事力を持つ外国との紛争を避けるため、困窮している外国船には薪水（燃料と水）や食料を与えて立ち去らせる「薪水給与令」を出し、対外緊張の緩和を図りました。
問10	答え 4 日本国内で罪を犯した外国人をその国の領事が裁く「領事裁判権」を認めたこと	日米修好通商条約には、外国人が日本で犯罪を犯しても日本の法律で裁けない「領事裁判権（治外法権）」の容認と、日本が輸入品にかける税率を自由に決められない「関税自主権の欠如」という、二つの大きな不平等条項が含まれていました。これにより、日本の主権が制限され、安価な外国製品の流入による国内産業への影響が生じることとなりました。これらの改正は、明治以降の日本外交の最重要課題となりました。
問11	答え 4 農村での一揆や都市部での打ちこわしが多発し、「ええじゃないか」と唱えて踊り歩く現象が広がった	急激な物価上昇により生活が困窮した民衆は、幕府や商人に対して「打ちこわし」を行うなど、社会不安が募りました。このような中で、現状の変革を強く願う「世直し」の意識が高まり、伊勢神宮のお札が降ってきたという噂をきっかけに「ええじゃないか」と民衆が狂奔する集団乱舞などの社会現象が巻き起こりました。他の選択肢は、明治時代以降の税制改正や社会運動に関する内容であり、幕末の状況とは異なります。
問12	答え 2 捕鯨船などのための燃料や食料の補給を目的として、日本に開国を求めた。	当時のアメリカは太平洋での捕鯨や中国との貿易を活性化させており、中継地点となる日本で石炭（燃料）や水、食料を補給できる港を必要としていました。この要求を受け、翌1854年に日米和親条約が締結され、下田と函館の2港が開港されることとなりました。通商（貿易）の開始を主な目的とするハリスとの交渉は、さらにその後の出来事です。
問13	答え 2 桜田門外の変	大老の井伊直弼は、独断での条約締結や反対勢力の処罰といった強硬な政治を行いました。これに激憤した水戸藩の元藩士らによって暗殺されました。この事件により、幕府の権威は大きく失墜し、幕末の動乱が加速することとなりました。